



一般財団法人  
北里環境科学センター

Kitasato Research Center for Environmental Science



# 理事長ご挨拶



一般財団法人北里環境科学センターは、北里大学衛生学部環境衛生研究センターを母体に昭和52年(1977年)4月に設立され、現在環境科学分野で幅広い事業を手掛けております。

近年世界規模で環境汚染が進行しており、人類の健康に及ぼす影響が重大な問題となっております。当センターは、環境汚染が地域社会、健康、経済に及ぼす影響が危惧されている現状に鑑み、北里柴三郎博士が目指した予防医学の実践の場として、環境問題の改善と予防医学に資する事業を通じ健全な生活環境の創造に寄与することを目的としています。

当センターは、幅広い領域の専門家を擁する北里大学と包括的連携協定を締結しており、様々な専門的支援が得られる利点を活用し、今後一層の業務の発展を目指すと共に、より質の高い生活環境を提供するため努力を続けていく所存です。

皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

理事長

山田陽城

北里環境科学センターは、試験・研究活動を通じてSDGsの目標達成に貢献します



## ISO9001:2015

全業務について認証取得

品質保証システムを  
管理し、信頼性確保に  
努めます



## ISO17025:2017

ICP-MSによる上水の  
金属分析について認定取得

試験データの精度の  
保証に努めます



当センターはお客様に選ばれる検査機関であるために、下記の品質方針に基づき継続的に組織として努力してまいります。

## 品質方針

### 1. 優れた技術者による検査

倫理観と高い技術・技能をもつ検査員を養成し、検査・試験業務を実施する。

### 2. 信頼できる結果を速やかに提示

常に技術・技能を向上させることで、より高い信頼性を確保する。

また、全員が力をあわせ、お客様に結果を速やかに報告する。

### 3. 依頼者に満足される適切な対応

サービス業として顧客満足の向上をめざす。

登録事業		登録取得年月日
計量証明事業所	第56号 事業の区分：濃度	1977年 3月12日
水道法第20条第3項に 基づく登録検査機関	厚生労働省 登録番号 第38号	2004年 3月31日
水道法第34条の2第2項に 基づく登録検査機関	厚生労働省 登録番号 第14号	2004年 3月31日
温泉法第15条に基づく 登録機関	神奈川県知事登録 第2号	2002年 8月30日
作業環境測定法第33条に 基づく登録機関	神奈川労働局 登録番号 第14-82	2003年 1月 9日

- 1973年 北里大学衛生学部内に「北里環境衛生研究センター」設立
- 1977年 計量法に基づく濃度計量証明事業所に登録
- 1977年 「財団法人 北里環境科学センター」創立
- 2002年 温泉法に基づく温泉成分分析機関に登録
- 2003年 作業環境測定法に基づく作業環境測定機関に登録
- 2003年 ISO 9001 認証取得
- 2004年 水道法第20条第3項に基づく水質検査機関に登録
- 2004年 水道法第34条の2第2項に基づく簡易専用水道検査機関に登録
- 2010年 ISO/IEC 17025 認定取得
- 2013年 「一般財団法人 北里環境科学センター」に名称変更
- 2013年 学校法人 北里研究所と教育・研究事業における連携を図り社会に貢献していくことを目的に包括的連携協定を締結
- 2018年 センター新社屋完成、移転（新旧何れも北里大学相模原キャンパス内）



## 北里環境科学センターは「環境ドック®\*」構想を推進しています

環境中には健康被害をもたらす病原性のあるウイルス、細菌等の微生物や有害な重金属、有機物などが存在することがあります。「環境ドック®\*」構想は、これらの微生物や有害物質を人間ドックのように継続的に試験・検査をすることで安全基準を超えた健康へのリスクを把握し、その改善を通じ予防医学的視点から健全な生活環境の創造を目指すものです。

北里環境科学センターは「環境ドック®\*」構想に則り、環境の維持・改善のために以下の受託事業を行っています。また共同研究の可能性も検討致します。

### [試験・検査例]

- ・医療環境等からの細菌、ウイルスの検出と環境改善アドバイス
- ・環境由来検体中（環境水或いは空気中）の衛生学的検査（微生物、ウイルス）と化学物質の検出
- ・感染症制御を目的とした除菌・抗ウイルス製品の有効性評価
- ・屋内カビの生育状況の把握とアドバイス
- ・作業環境測定（有機溶媒及び特化物を扱う作業所、研究室等の定量分析）
- ・室内環境（室内空気等）における揮発性有機物の定量分析や臭気の測定

\*商標登録番号 第 6463013 号

## 水質検査

私たちの普段の生活に欠かす事の出来ない水。当センターでは、水道法等の様々な法令・条例等に基づく検査や、役所や自治体に提出する検査、保健所等に求められる検査等、あらゆる水質検査に精通しております。

### ●飲料水水質検査

厚生労働大臣の登録を受けた検査機関として、水道法に基づいた水質検査を実施しております。

- ・水道法に基づく51項目検査
- ・水質管理目標設定項目検査
- ・クリプトスポリジウム関連項目検査
- ・ビル管法、食品衛生法に係る水質検査
- ・水道用資機材、給水装置の浸出試験



### ●プール水の検査

多数の人が利用する遊泳用プールにおける衛生水準を確保する目的で、遊泳用プールの衛生基準、水泳プールに係る学校環境衛生基準に基づき検査しております。



### ●温泉及び浴槽水の検査

温泉の適合に必要な温泉法に基づく温泉成分分析や飲泉分析を行っております。また、旅館業法施行条例及び公衆浴場法に基づいた浴槽水、原湯、上がり湯等の検査や、温泉利用において健康影響が懸念されるレジオネラ属菌の検査を行っております。

### ●環境中のレジオネラ属菌の検査

施設に設置されているクーリングタワー冷却水や修景水等の環境中におけるレジオネラ属菌を検査致します。





### ●排水・河川水・地下水等の検査

水質汚濁防止法の適用を受ける工場排水、生活排水、下水道の流入水、放流水の分析、また公共用水域の河川調査、地下水調査等の水質全般を分析しております。

### ●透析用水検査

医療機関での透析の安全性の担保と最低限の遵守事項を基本とした「透析液清浄化ガイドライン」の管理基準に基づいて検査しております。「透析液清浄化ガイドライン」では、原水（水道水、井水）を逆浸透膜等で処理した透析用水について、透析用水化学物質管理基準項目（12項目）を年1回以上実施することになっています。また「透析用水生物学的汚染管理基準」に基づく検査も実施しております。

## 簡易専用水道検査

簡易専用水道および小規模受水槽水道とは、ビルやマンションに設置された貯水槽を経由して蛇口に水を送っている施設です。

貯水槽に入る水道水がいくら清潔で安全でも、それを貯めておく貯水槽の管理が悪ければ蛇口から出てくる水は不衛生になります。



当センターでは、厚生労働大臣の登録を受けた検査機関として、また神奈川県知事及び神奈川県内の各市長の指定を受けた検査機関として、神奈川県及び東京都（島しょ部を除く）の貯水槽水道を検査しております。

# 環境調査

## ●作業環境測定

作業環境測定法第33条に基づき、実験室、  
或いは工場等の作業環境を測定致します。  
当センターでは特定化学物質及び有機溶剤を  
取り扱う作業所について測定致します。



## ●室内空気調査

近年新築や改築(リフォーム)後の建物では、  
身体に不調が起きる兆候が表れております。  
即ち、室内空気の汚染が原因と考えられる  
シックハウス症候群が問題となっています。  
当センターではその原因となる揮発性有機  
化合物 (VOC) 等の有害物質を測定します。

## ●放射性物質測定

飲料水、食品、土壌などを対象として、  
NaI(Tl)シンチレーション検出器を搭載  
したガンマ線スペクトロメーターにより  
放射線量を測定します。  
測定対象核種は、放射性ヨウ素 ( $^{131}\text{I}$ )、  
放射性セシウム ( $^{134}\text{Cs}$ 、 $^{137}\text{Cs}$ ) です。



●その他に土壌調査、環境大気測定等、  
様々な生活環境・自然環境を調査、  
分析致します。

# 理化学的試験

当センターでは、新社屋への移転を機にホルムアルデヒド等の化学物質やアンモニア等の悪臭物質、また粒子等の除去性能を評価する事を目的として、ステンレス製の 30 m<sup>3</sup> 試験室及び 1 m<sup>3</sup> チャンバーを整備しました。お客様のご要望やお問い合わせに対して、技術者及び臭気判定士が的確に評価試験をご提案致します。

環境に関する現代社会の様々な問題を解決すべく、皆様方のお役に立てるよう努力致します。

## 設備の紹介



### 30 m<sup>3</sup> 試験室 仕様

仕上げ：6面ステンレス板

容 積：30 m<sup>3</sup> (8畳間相当)

換気量：0.5回/hr(24時間換気システム)～4回/hr

電 源：100V及び200V (単相)

作業窓：グローブボックス及び簡易パスボックス付

その他：電灯及びコンセント防水対応、排水口

### 1 m<sup>3</sup> チャンバー 仕様

仕上げ：ステンレス板5面+塩ビ板1面

容 積：1 m<sup>3</sup>

作業窓：グローブボックス及び  
簡易パスボックス付



(理化学試験とは別に)

当センターでは、  
臭気についての問題解決に  
関して、皆様のご相談に  
乗ることができます。

試験例：

- ・空気清浄機及びデバイスの除去性能試験
- ・ガス等吸着剤性能評価試験
- ・臭気に係わる試験
- ・粒子等除去性能試験
- ・試験室貸与

# 微生物評価試験

細菌学の祖、北里柴三郎博士の志を受け継ぎ、生活全般の微生物に関する検査や評価を通して「健康的な生活環境の創造」を使命として活動しています。

抗菌・抗カビ試験、台所用や住宅用洗剤などを対象とした除菌試験、空気清浄機の性能評価に用いられる浮遊微生物に対する性能を評価しています。また、評価試験以外では、環境調査、微生物の分離・同定、環境水や食品の細菌検査、或いは、化粧品の試験等も行っています。

※ 試験は、規格外の菌種や条件についても対応可能です。オーダーメイドでの試験も対応可能です。

## － 主な業務 －

殺菌効力試験／抗菌試験・除菌試験／防カビ試験／生菌数測定／  
微生物の検出・同定／食品検査／家電品・医療機器の性能評価／環境調査

## ◇ 殺菌効力試験

### 1) 日本薬局方に基づく微生物試験

- ・ 微生物限度試験：試験品中に存在する生菌数、また特定微生物の検出
- ・ 保存効力試験：多回使用される医薬品や化粧品中に接種した試験菌数の消長を確認
- ・ 消毒法・除染法：試験菌を用いて消毒剤や除染剤の使用時の有効性を確認

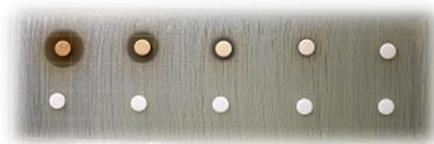
### ・ EN、ASTM、AOAC等の海外の試験規格に基づく殺菌効力試験

- ・ 浮遊試験 (suspension test)：消毒薬中に試験菌懸濁液を接種して行う試験
- ・ 表面試験 (surface test)：試験菌を硬質表面に塗布して行う試験
- ・ 浸漬試験 (carrier test)：試験菌を塗布したキャリアを消毒液に浸漬して行う試験

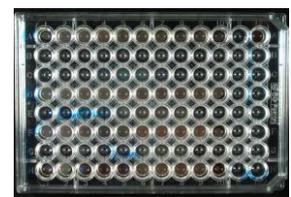
### ・ MIC測定試験

Clinical and Laboratory Standards Institute (CLSI)にもとづく試験

- ・ 希釈法：微量液体希釈法、寒天平板法
- ・ 拡散法：ディスク法による阻止円形成能の測定



【ディスク法の結果例】



【微量液体希釈法の結果例】

## ◇抗菌試験・除菌試験

### 1) 日本工業規格（JIS）に基づく抗菌・防カビ性能評価試験

- ・抗菌加工製品の抗菌性試験（フィルム密着法）
- ・繊維製品の抗菌性試験（菌液吸収法、ハロー試験）
- ・光触媒による抗菌・抗カビ・抗ウイルス試験
- ・カビ抵抗性試験



### 2) 洗剤石けん公正取引協議会で定める除菌試験



【除菌マークの表示例】

- ・住宅用洗剤の除菌試験
- ・台所用洗剤の除菌試験
- ・洗濯用洗剤の除菌試験

### 3) 日本清浄紙綿類工業会で定める除菌試験

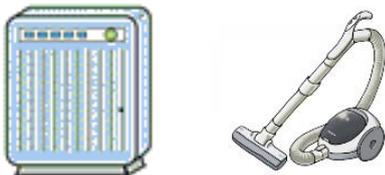
ウエットワイパー類の除菌性能評価試験

## ◇家電品・医療機器等の除菌性能評価試験

ご要望に応じ、様々な製品や機器を対象として除菌性能や殺菌性能を評価する試験をご提案いたします。

実例としては

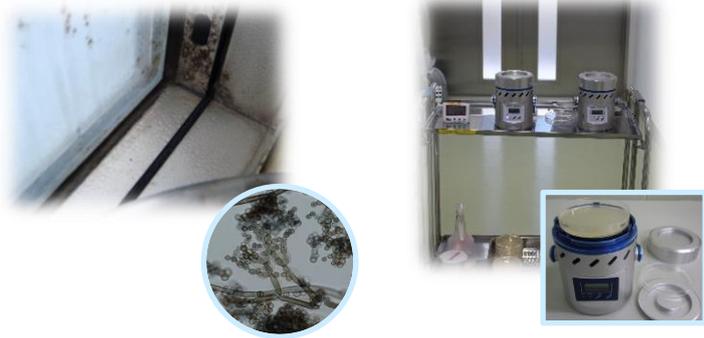
- ・空気清浄機等のウイルス除去性能評価
- ・掃除機、洗濯機等の家電品の除菌性能評価
- ・モップ等清掃用品の除菌性能評価
- ・UVランプによる殺菌性能評価
- ・内視鏡など医療機器等の安全性評価
- ・院内感染対策に資する評価



## ◇環境調査

- ・付着細菌およびカビの調査
- ・浮遊細菌およびカビの調査

現場にサンプリングに伺いますが、  
お客様で採取頂くことも可能です。



## ◇生菌数測定・微生物の検出と同定

- ・バイオバーデンの測定
- ・おしぼりの細菌検査
- ・各種検体の生菌数測定
- ・細菌・真菌の同定

## ◇その他

- ・食品の細菌検査
- ・砂場の回虫卵・大腸菌群検査
- ・生物製剤の安全性、製品の皮膚刺激性等に関する動物実験

## ◇試験機関の認定・推奨

- ・洗剤石けん公正取引協議会 認定
- ・日本衛生材料工業連合会 認定
- ・光触媒工業会 推奨
- ・日本銅センター 推奨

## ◇関連学会

- ・日本防菌防黴学会（賛助会員）
- ・日本環境感染学会
- ・日本感染症学会

### －微生物評価試験の受託実績－

家電製品メーカー、医療機器メーカー、製薬メーカー、素材メーカー、  
化学メーカー、建築メーカー、食品製造メーカー、国立研究機関等

# ウイルス評価試験

近年、様々なウイルス感染症の流行により、感染症制御を目的とした素材、製品やデバイスが開発され、製品や素材のウイルスに対する性能評価試験の需要が増加しています。ウイルス部では、JIS、ISO、EN、ASTM の試験規格に規定された試験方法でウイルス評価試験が実施可能です。

試験規格以外の試験についても、現在までに実施した多くの試験実績及び科学的な知見を基に適切な試験設計をご提案し、ご依頼者様のご要望にあった試験を致します。

## 1. ウイルス不活化試験

ウイルスに試験品を直接作用させ、不活化効果を調べる試験です。

試験可能なウイルスは、当センターホームページをご参照ください。

([http://www.kitasato-e.or.jp/?page\\_id=831](http://www.kitasato-e.or.jp/?page_id=831))

### 1) 液剤試験品を対象とした試験

- ◆試験品にウイルス液を懸濁して不活化効果を調べます。

試験実績のある試験品：

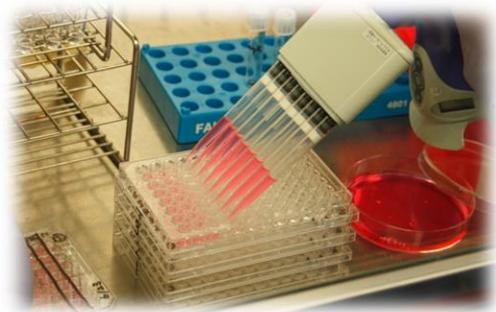
アルコール系消毒薬、高水準消毒薬、ハロゲン系薬剤、第四級アンモニウム塩系薬剤、酸性・アルカリ性液剤、機能水、その他水溶性または有機溶媒可溶性の試験品等

### 2) 平板状試験品を対象とした試験

- ◆試験品にウイルス液を滴下して作用させ、不活化効果を調べます。

試験実績のある試験品：

プラスチック、セラミックス、ガラス、金属板、光触媒加工品、その他平板状の試験品等



感染価の測定



消毒薬



洗濯用洗剤



スプレー剤

### 3) 繊維製品を対象とした試験

◆試験品にウイルス液を接種・含浸して作用させて不活化効果を調べます。

試験実績のある試験品：

抗ウイルス剤加工繊維製品、光触媒加工繊維製品等

### 4) 空気清浄機、小型のデバイス、ガス等を対象とした試験

◆様々な大きさの空間を使用して浮遊ウイルスや付着ウイルスの除去性能を調べます。

試験実績のある試験品：

空気清浄機、イオン発生器、ガス発生剤やガス発生装置等

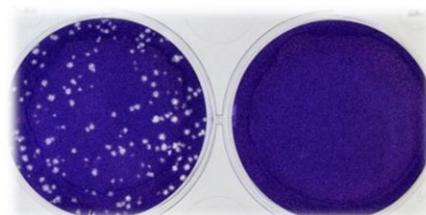
## 2. 抗ウイルス試験

試験品のウイルス増殖抑制効果や感染防御効果を調べる試験です。

### 1) *in-vitro* ウイルス増殖抑制試験

◆培養細胞株を用いて、植物・動物由来抽出物、食品、化学薬品、化学合成化合物等のウイルス増殖抑制効果を調べます。

対照      抗ウイルス薬添加



増殖抑制試験の結果一例

### 2) *in-vivo* ウイルス増殖抑制試験

◆ウイルス感染モデルマウスを使用して、植物・動物由来抽出物、食品、化学薬品、化学合成化合物等の感染防御効果やウイルス増殖抑制効果を調べます。



布・壁紙等



天然物・抽出物



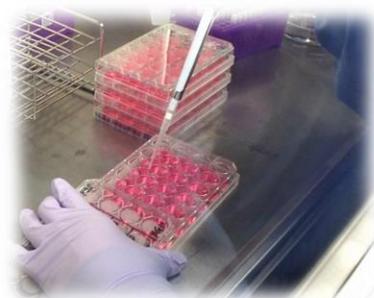
空気清浄機

### 3. 環境由来検体のウイルス検査

下水処理水中、河川水に存在するウイルスを検出します。また、エアースンプラー等で捕集した検体のウイルスも検査致します。

#### 1) ウイルス分離

- ◆多様な培養細胞株を用いて感染性を有するウイルスを分離培養する検査です。腸管系ウイルス、アデノウイルス等の検査実績があります。



ウイルスの分離培養

#### 2) ウイルス検出

- ◆コンベンショナルPCR法やリアルタイムPCR法を用いてウイルス核酸を検出、定量する検査です。ノロウイルス、ロタウイルス、インフルエンザウイルス等の検査実績があります。



リアルタイム PCR 装置

### 4. 共同研究等

素材開発・新規技術開発等の研究開発、学術活動について共同研究を承ります。また、ウイルス試験についての技術相談等もお受け致します。

### 5. ウイルス評価試験の受託実績

製薬メーカー、素材メーカー、家電製品メーカー、医療機器メーカー、医療器具メーカー、地方自治体の水再生センター、民間水処理プラント、地方自治体研究機関、国立研究機関等



顕微鏡



超遠心分離機



CO<sub>2</sub>インキュベーター

当センターでは、水道水・井戸水・温泉水・排水や環境水等の水質をはじめ、土壌・大気・室内空気・作業環境測定業務等の幅広い測定業務を行っています。これらの多岐に渡る業務に対してお客様からのご要望にお応えできるよう、各種測定機器を取り揃え、検査業務の体制を整えております。

## 主な保有機器

### ◇ ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS)

GCの分離カラム内で分離された成分をイオン化させ質量分析計に導入し測定する装置です。試料導入装置としてオートインジェクターの他、ヘッドスペースサンプラー、ページ&トラップ装置を使用しております。



ガスクロマトグラフ質量分析計  
(ページ&トラップGC-MS)

### ◇ 高速液体クロマトグラフ (HPLC)

移動相中に溶解した目的成分を分離カラム内で分離させ測定する装置です。検出器には紫外部吸収検出器、蛍光検出器を使用しております。



液体クロマトグラフ質量分析計  
(タンデム型)

### ◇ 液体クロマトグラフ質量分析計 (LC-MS/MS, タンデム型)

LC部で分離された成分をイオン化させ、質量数を測定する装置です。LC部での分離が不十分であっても、MS部の与える情報により定性・定量が可能となります。HPLCと比べ高感度で測定することができます。

### ◇ 誘導結合プラズマ質量分析計 (ICP-MS)

霧状にした試料を高温のプラズマ中でイオン化させ質量分析計に導入し測定する装置です。原子吸光法やICP法と比べ高感度で、多くの元素を同時に測定することができます。



誘導結合プラズマ質量分析計

### ◇ イオンクロマトグラフ (IC)

水の中に溶存する陽イオン・陰イオンを分離カラム内で分離させ測定をする装置です。検出器には電気伝導度計、紫外部吸収検出器を使用しております。

当センターの特徴の一つ

## 大型試験チャンバー(25 m<sup>3</sup>)

(一社)日本電機工業会の規格試験(JEM1467)を承っております。

- ・上記規格試験の附属書D記載の方法による浮遊ウイルス試験
- ・上記規格試験の附属書E記載の方法による付着ウイルス試験



規格で使用されるウイルスの他に、細菌やカビに対する評価も可能です。

試験対象例：

- ・空気清浄機
- ・エアコン
- ・加湿器
- ・殺菌灯
- ・置き型除菌剤
- ・スプレー式除菌剤等

あらゆる製品の抗菌、抗カビ、  
抗ウイルス試験が可能です。

下駄箱、冷蔵庫等で使用する製品や試作品等\*の性能評価には、  
小型試験チャンバー(1.0 m<sup>3</sup>、0.4 m<sup>3</sup>、0.2 m<sup>3</sup>)もございます。

\*卓上型の空気清浄器や局所型脱臭装置等

どのような試験を実施すれば良いのか、豊富な知識を有する専門家が  
アドバイスさせていただきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

## 市民啓発活動

当センターでは、一般市民の方を対象とした公益活動を行っております。

### ◇ 「環境科学セミナー」の開催

一般市民の方を対象とした北里環境科学センターの業務に関連した公開セミナーを開催しております。これまで北里大学及び相模原市教育委員会との共催、または後援により38回を開催致しました。



環境科学セミナー、2018年6月

### ◇ 環境啓発イベントへの参加

さがみはら環境まつり等

## 教育支援・国際交流

◇ 国内のインターンシップ学生の受け入れ、海外の大学への教育・研究支援。センターの研究者等が、定期的に瀋陽薬科大学（中国）にて学術支援しています。



瀋陽薬科大学との学術交流協定による講義と実習、2019年10月

# 研究及び技術開発協力事業

- ◇ 新たな試験法の開発、改良のための研究、調査
- ◇ 研究開発成果の学会発表
- ◇ 技術協力のため各種委員会、講演会への講師派遣



日本環境感染学会 ポスター発表

# 学会発表実績

## 2019 年度

発表演題	発表者名	発表学会
除湿を利用した空間中に浮遊しているウイルスの捕捉に関する検討	野島康弘ら	第93回日本感染症学会 (愛知県)2019/4/5
24時間換気室内におけるカビ指数ならびに検出カビ数と種類	榊原正也ら	第46回日本防菌防黴学会年次大会 (大阪府)2019/9/25～26
病院ドアハンドル付着細菌及び有機物に及ぼす銅合金の影響	小澤智子ら	第46回日本防菌防黴学会年次大会 (大阪府)2019/9/25～26
PCナースカートハンドル付着細菌数の病棟間比較	笹原武志ら	日本環境感染学会 (神奈川県)2020/2/14～15

## 2020 年度

発表演題	発表者名	発表学会
NTDに対峙して	山田陽城	第94回日本感染症学会総会学術講演会 (東京都)2020/8/19～21
漢方薬の薬効の解析と薬局製剤	山田陽城	第53回日本薬剤師会学術大会北海道 (北海道)2020/10/10～11
溶原菌に及ぼす銅及び銅合金の影響	笹原武志ら	日本銅学会第60回記念講演 (オンラインWEB開催)2020/10/24～25
日本発・顧みられない熱帯病創薬におけるパートナーシップの最前線(2021)	山田陽城ら	日本薬学会 第141年会 シンポジウムオーガナイザー (オンラインWEB開催)2021/3/26～28

## 2021 年度

発表演題	発表者名	発表学会
洗濯物取扱い無人ロッカーの衛生管理に関する試験研究	土田 海ら	日本防菌防黴学会第48回年次大会 (オンライン参加)2021/9/8～9
日本電機工業会「空気清浄機の浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験方法」の解説	菊野理津子	機能水学会第19回学術大会 (東京都)2021/10/30～31
日本鋳業振興会「銅めっき及び着色処理を施した銅材の殺菌性評価」の中間報告	笹原武志	日本鋳業振興会助成金研究成果報告会 (オンライン参加)2021/11/30

# 業務関連の主な資格

## 物理・化学系

作業環境測定士(第二種)
作業環境測定士(特定化学物質)
作業環境測定士 2号(放射線)(第一種)
作業環境測定士 5号(有機溶剤)(第一種)
公害防止管理者(水質一種)
石綿作業主任者
有機溶剤作業主任者
特定化学物質作業主任者
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
放射線取扱主任者
危険物取扱者(甲種)
毒物劇物取扱主任者
特定毒物研究者

## 医療・衛生系

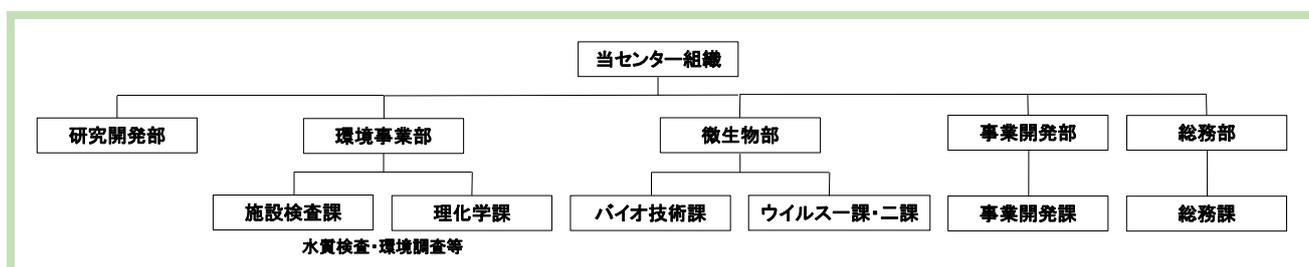
環境計量士(濃度)
Infection Control Doctor
薬剤師
臨床検査技師
臭気判定士
臨床工学技士
衛生検査技師
透析技術認定士
衛生管理者(第一種)
衛生管理者(第二種)

## その他資格

安全運転管理者
管理栄養士
栄養士
調理師
日商簿記検定(三級)
公益法人会計検定(三級)
給与計算実務能力検定(一級)
色彩能力検定(二級)
秘書技能検定(二級)

## 特殊技術系

技術士(建築部門)
技術士補(公害検査・生物工学)
中級バイオ技術者
東京都公害防止管理者 認定制度試験事業者(環境)
情報処理技術者(FE)/(AD)
建築物環境衛生管理技術者 特別管理産業廃棄物管理責任者
認定ホスピタルエンジニア
防火管理者(甲種)
防災管理者



# 交通案内

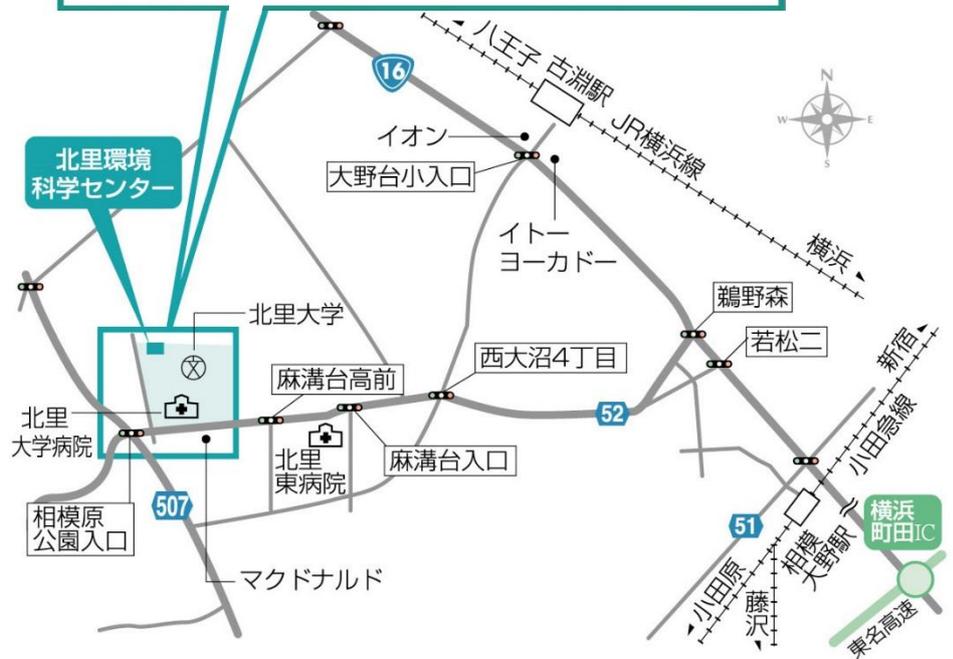
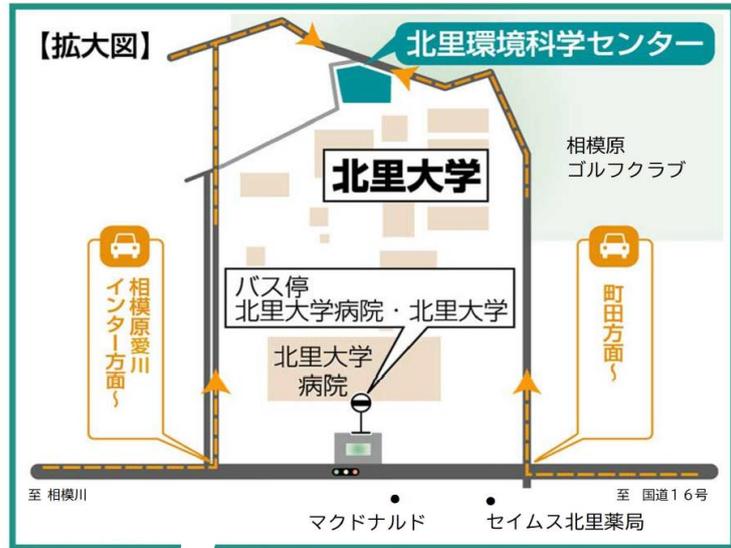
## 最寄り駅からの バスのご案内

- ◇ 小田急線 相模大野駅北口 発  
神奈中バス 1番のりば  
「北里大学病院・北里大学」行  
または「相模原駅南口」行  
バス停  
「北里大学病院・北里大学」下車  
(所要時間約25分)

- ◇ JR横浜線 相模原駅南口 発  
神奈中バス 2番のりば  
「相模大野駅北口」行  
バス停  
「北里大学病院・北里大学」下車  
(所要時間約25分)

※ 上記所要時間は目安です

タクシーをご利用される場合は  
小田急線 相模大野駅  
JR横浜線 古淵駅が便利です。



## 一般財団法人 北里環境科学センター

〒252-0329

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

(Tel) 042-778-9208 (Fax) 042-778-4551

(E-mail) info@kitasato-e.or.jp

(HP) <https://www.kitasato-e.or.jp>

環境事業部直通

042-778-7768

微生物部バイオ技術課直通

042-778-8324

微生物部ウイルス一課・二課直通

042-778-8905